

湖西市公共施設再配置個別計画

2018 年(平成 30 年) 2 月

(2026 年(令和 8 年) 3 月改定)

湖西市

目 次

1	目的	1
2	個別計画の位置付け	2
3	計画期間	3
4	縮減面積等の実績と見込み	
	(1) 縮減面積等の実績	4
	(2) 縮減面積等の見込み	5
5	再配置による効果の実績と見込み	6
6	個別施設ごとの行動計画	7
	(1) 短期実施事業（第3期前半 2026—2030）	8
	(2) 短期検討事業（第3期後半 2031—2035）	2 1
	(3) 長期検討事業（第4期 2036—2045）	6 4

1 目的

平成28年度に公共施設の適正配置の実現を目指し策定した「湖西市公共施設再配置基本計画」（以下「基本計画」という。）に則った施策を着実に実行していくため、「湖西市公共施設再配置個別計画」（以下「個別計画」という。）を策定し、再配置の行動計画を示します。

個別計画では、令和8年3月の改定により、第3期前半（2026年度－2030年度）を「短期実施事業」、第3期後半（2031年度－2035年度）を「短期検討事業」、第4期（2036年度－2045年度）を「長期検討事業」とし、それぞれの位置づけは下記のとおりです。

- ・短期実施事業：令和8年3月に公表した中期財政計画との整合を図った内容となっており、直近5年間の具体的な再配置の予定を示したもの。
- ・短期検討事業：計画改定時点の財政的な裏付けはないものの、ある程度具体的な再配置の方向性を示したもの。
- ・長期検討事業：今後の施設の再配置の基本的な考え方を示したもの。

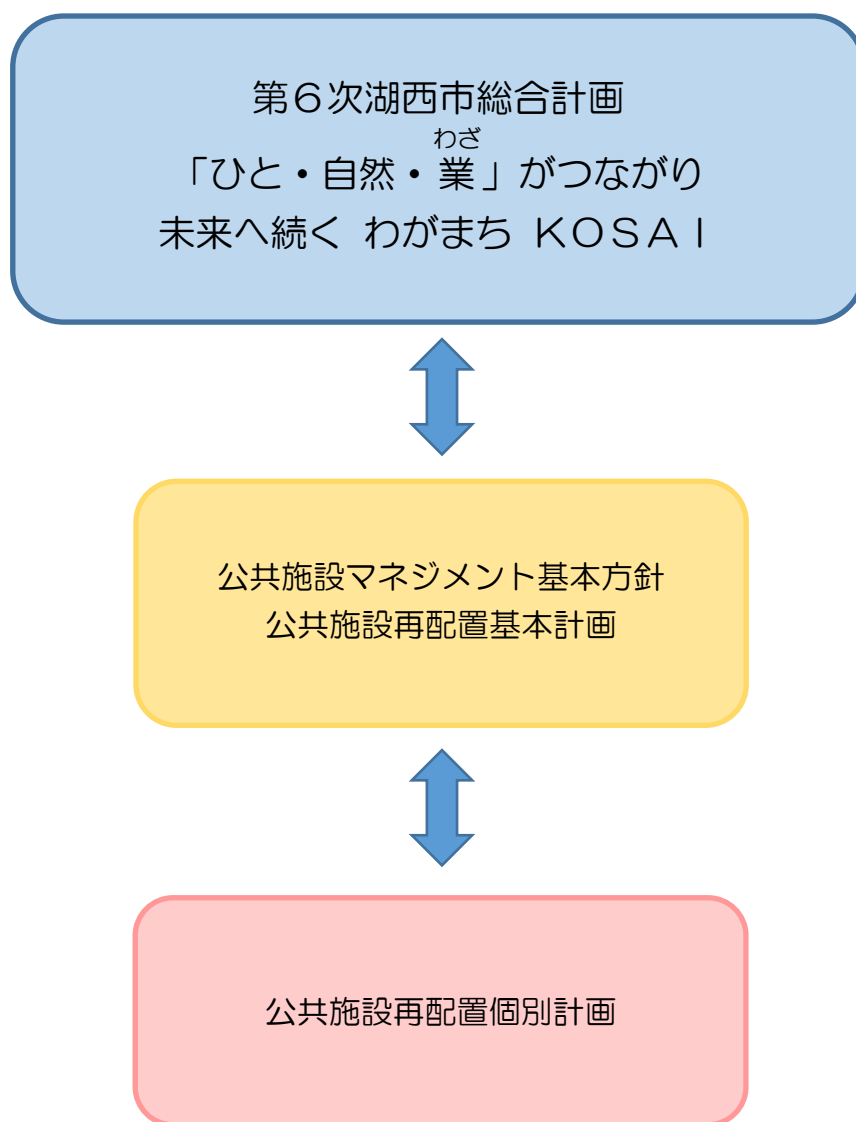
再配置にあたっては、公共施設マネジメント基本方針の基本的な考え方である「施設総量の縮減」、「安全性の確保と機能の複合化」、「運営の適正化」、「広域的な活用」に基づき、全ての施設について周辺施設との統合、複合化を進めていくことを基本とします。

2 個別計画の位置付け

本個別計画は、これまで策定してきた「湖西市公共施設マネジメント基本方針」、「湖西市公共施設再配置基本計画」に基づき、個別施設ごとの具体的な行動計画に関して取組スケジュールとともに想定事業費を示した計画です。

また、本個別計画は、財政状況を勘案しつつ、「第6次湖西市総合計画」と連動させることで、より実効性のある公共施設マネジメントを実現するものです。

図表2－1 公共施設再配置個別計画の位置付け

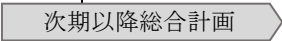
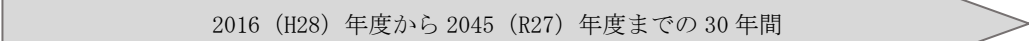
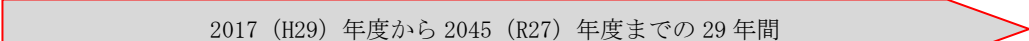
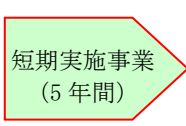
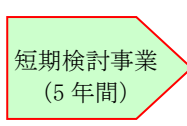
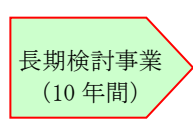


3 計画期間

施設再配置の取り組みは、公共施設のライフサイクルが数十年と中長期にわたるものであることから、2017年度から2045年度までの29年間を計画期間として設定しています。

なお、社会情勢の変化や財政状況等を踏まえ、5年ごとに見直しを行うものとします。

図表3－1 公共施設再配置個別計画の計画期間

計画区分	第1期	第2期	第3期前半	第3期後半	第4期
年度	2017 (H29) ～ 2020 (R2) 年度	2021 (R3) ～ 2025 (R7) 年度	2026 (R8) ～ 2030 (R12) 年度	2031 (R13) ～ 2035 (R17) 年度	2036 (R18) ～ 2045 (R27) 年度
新・湖西市総合計画					
第6次湖西市総合計画					
公共施設等総合管理計画	 2016 (H28) 年度から 2045 (R27) 年度までの 30 年間				
公共施設再配置基本計画	 2017 (H29) 年度から 2045 (R27) 年度までの 29 年間				
公共施設再配置個別計画	 終 了		 短期実施事業 (5 年間)	 短期検討事業 (5 年間)	 長期検討事業 (10 年間)

4 縮減面積等の実績と見込み

(1) 縮減面積等の実績

基本計画策定時（H28年度末時点）の施設数は106施設、総延床面積は228,101㎡でした。そのうち、第1期及び第2期における再配置の取り組みにより30施設の再配置が完了しました。（大規模改修：10施設、譲渡した施設：7施設、廃止施設：13施設）譲渡及び廃止により縮減した面積は、図4－1のとおりとなります。

また、第1期及び第2期における再配置の取組内容は、「別冊 湖西市公共施設再配置個別計画 取組内容一覧」に掲載のとおりです。

図表4－1 公共施設再配置個別計画の縮減面積等実績

分類		平成28年度末時点		第1期(2017-2020)実績		第2期(2021-2025)実績	
大分類	中分類	施設数	延床面積(㎡)	削減施設数	縮減面積(㎡)	削減施設数	縮減面積(㎡)
市民文化系施設	集会施設	8	12,108	2	4,441		
社会教育系施設	図書館	2	4,004				
	博物館等	3	1,157				
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	6	19,982			1	1,358
	レクリエーション施設・観光施設	3	556			1	84
産業系施設	産業系施設	3	3,134				
学校教育系施設	学校	11	89,472				
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	9	12,948		▲574	2	1,823
	幼児・児童施設	1	1,493				
保健・福祉施設	高齢福祉施設	6	6,657	2	204		
行政系施設	庁舎等	1	6,535				
	消防施設	15	3,831				▲4,902
	その他行政系施設	3	1,205			2	850
公営住宅	公営住宅	10	25,060			2	2,219
供給処理施設	供給処理施設	5	16,949			1	1,361
その他	その他	19	9,653	1	578	6	1,345
病院施設	病院施設	1	13,357				
合 計		106	228,101	5	4,649	15	4,138
縮減率				3.9%			

※ ▲は面積増加を示します。

(2) 縮減面積等の見込み

基本計画策定時（H28年度末時点）の施設数106施設、総延床面積228,101㎡に対して、計画どおりに再配置を進めた場合の縮減面積の見込みは、計画終了時点で18,654㎡、縮減率は約8.2%となり、計画目標の20%を達成できません。

地元からの要望や財政的な事情から解体が進まず、延べ床面積の削減に繋がらないといった課題もあり達成は困難な状況ですが、少しでも目標の20%に近づけることができるように引き続き、施設の廃止、複合化、譲渡などを検討していきます。

図表4-2 公共施設再配置個別計画の縮減計画面積

分類		平成 28 年度末時点		縮減計画面積			
大分類	中分類	施設数	延床面積(㎡)	短期実施事業 第3期前半 (2026-2030)	短期検討事業 第3期後半 (2031-2035)	長期検討事業 第4期 (2036-2045)	合計
市民文化系施設	集会施設	8	12,108	199			199
社会教育系施設	図書館	2	4,004				0
	博物館等	3	1,157		270		270
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	6	19,982		172		172
	レクリエーション施設・観光施設	3	556			71	71
産業系施設	産業系施設	3	3,134		519		519
学校教育系施設	学校	11	89,472	▲447			▲447
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	9	12,948		983		983
	幼児・児童施設	1	1,493				0
保健・福祉施設	高齢福祉施設	6	6,657				0
行政系施設	庁舎等	1	6,535				0
	消防施設	15	3,831	164			164
	その他行政系施設	3	1,205		355		355
公営住宅	公営住宅	10	25,060		3,543		3,543
供給処理施設	供給処理施設	5	16,949		1,590		1,590
その他	その他	19	9,653	1,311	744	393	2,448
病院施設	病院施設	1	13,357				0
合 計		106	228,101	1,227	8,176	464	9,867
縮減率				0.5%	3.6%	0.2%	4.3%

※ 第1期及び第2期縮減面積 8,787 ㎡ + 縮減計画面積 9,867 ㎡ = 計画期間終了時点 18,654 ㎡

※ 第1期及び第2期縮減率 3.9% + 縮減率 4.3% = 計画期間終了時点 8.2%

※ ▲は面積増加を示します。

5 再配置による効果の実績と見込み

第2期までに実施した再配置（譲渡：7施設、廃止：13施設）により、8,787㎡の面積の縮減を行い、期間中の管理運営費（人件費を含む）を累計で約10億円縮減できました。

今後は、短期実施事業（2026年度－2030年度）にて1,227㎡（全体面積の0.5%）、短期検討事業（2031年度－2035年度）にて8,176㎡（全体面積の3.6%）の公共施設を縮減する予定であり、縮減計画面積により試算すると、2035年度末までに累計で約39億円の管理運営費（人件費を含む）を縮減できる見込みとなります。

図表5－1 施設削減による管理運営費縮減額（見込み）

計画期間	縮減計画面積 (㎡)	期間中縮減額 (万円)	累計縮減額 (万円)
第1期 (2017-2020)	4,649	19,279	19,279
第2期 (2021-2025)	4,138	89,510	108,790
短期実施事業 第3期前半 (2026-2030)	1,227	125,989	234,780
短期検討事業 第3期後半 (2031-2035)	8,176	156,962	391,743

※ 管理運営費縮減額の算出は、第1期及び第2期は譲渡、廃止した各施設の管理運営費にて算出し、第3期前半以降は縮減計画面積に管理運営費の平均額（31,400円/㎡）を乗じた額を基準に算出しています。

※ 管理運営費の平均額（31,400円/㎡）は、令和4年度～令和6年度の施設に係る管理運営費（人件費を含む）の㎡当たりの平均額です。

6 個別施設ごとの行動計画

本個別計画は、次の表のとおり公共施設再配置基本計画において対象とした施設を事業実施時期ごとにとりまとめを行っています。

2026年度は予算計上事業の内容を記載し、2027年度～2030年度については本個別計画改定時点の中期財政計画（令和8年3月公表）の内容を反映したものとなっています。また、2031年度以降については、再配置の取組内容や実施時期といった施設の今後の方針を参考として記載しています。個別計画の実行については、施設の利用実態や劣化の状況、地元要望や財政状況など、様々な要因により変更となる可能性があり、必要に応じて適宜見直しを行います。また、公共施設の長寿命化を図る際に、法定耐用年数を超えて目標として使用する年数は、別途定めるものとします。なお、令和8年度の見直しにより「再配置の方向性」や「実施時期」を改定した施設は「別紙 湖西市公共施設再配置個別計画 令和8年度見直し施設一覧」をご確認ください。

個別施設ごとの行動計画の見方

No.	施設名		所管課	
敷地面積	個別の施設名を記載		土地所有	施設を所管する該当課名記載
延床面積			建築年・構造	
再配置の方向性	施設の利用や運営状況、維持管理等の現状と課題を記載			
実施時期				
現状と課題	計画期間内で実施する再配置の考え方や具体的な事業内容を示す			
事業概要	複合化等を検討する具体的な対象施設を記載			
複合化等検討対象施設	各年度 of 取組内容を記載		建設・大規模改修・解体等の事業費の見込み	

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028			
	2029		解体や譲渡によって縮減する面積を記載	
	2030			
		5年間の取組内容を記載	5年間の事業費の合計	

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040			
	2041～2045		5年間の解体や譲渡によって縮減する面積を記載	

(1) 【短期実施事業（第 3 期前半 2026－2030）】

No.	ページ	施設名	施設分類	所在地	建築年
1	P 10	浜名湖れんが館	市民文化系施設	鷺津 479-31	平成 17 年
2	P 11	東小学校	学校教育系施設	新所 680	昭和 43 年
3	P 12	知波田小学校	学校教育系施設	大知波 1144	昭和 63 年
4	P 13	湖西中学校	学校教育系施設	太田 135	昭和 54 年
5	P 14	岡崎中学校	学校教育系施設	岡崎 587-2	平成 19 年
6	P 15	消防団第 2 分団詰所	行政系施設	吉美 1570-3	平成 2 年
7	P 16	消防本部	行政系施設	古見 1076	昭和 48 年
8	P 17	分川住宅	公営住宅	鷺津 2393-1	平成 4 年
9	P 18	湖西市笠子廃棄物処分場	供給処理施設	白須賀 3985-1961	昭和 63 年
10	P 19	新居町駅西自転車等駐車場	その他	新居町新居 3423-18	昭和 59 年
11	P 20	湖西市営火葬場	その他	入出 1537	昭和 43 年

短期実施事業（第3期前半）公共施設位置図



1	施設名	浜名湖れんが館	所管課	産業振興課
	敷地面積	540㎡	土地所有	市
	延床面積	238㎡	建築年・構造	平成17年（明治37年）・鉄骨造
	再配置の方向性	転用・譲渡		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	浜名湖れんが館は、地元の建物保存の要望を受け、平成17年にとぴあ浜松農協より取得し、耐震補強工事を実施しました。 駐車場が施設から遠く、イベント時の荷物置場や控室がない等の課題があり、利用者の利便性の向上を図る必要があります。 令和5年度、令和6年度に地元商工団体との協議や民間事業者から活用方法の募集を行いました。転用、譲渡には至っていません。		
	事業概要	地元商工団体と連携した活用、転用方法を検討するとともに、転用、譲渡を含めた民間事業者からの事業案を募集します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	・ 民間事業者から事業案を募集		
	2027	・ 提案事業実施の支援		
	2028	・ 提案事業実施の支援		
	2029	・ 転用、譲渡に関する協議		
	2030	・ 転用、譲渡		238㎡

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期前半（2026年～2030年）

2	施設名	東小学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	19,743㎡	土地所有	市
	延床面積	4,480㎡	建築年・構造	昭和43年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続（知波田小学校と統合）		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	湖西市学校再編基本計画【北部地区】に基づき、東小学校と知波田小学校を現在の湖西中学校の場所に統合します。また、湖西中学校は、岡崎中学校に統合します。 東小学校の校舎等の活用方法については、検討をしていく必要があります。		
	事業概要	小学校の統合に伴い、湖西中学校の校舎等を改修します。		
	複合化等検討対象施設	知波田小学校		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 前 半	2026			
	2027	・大規模改修工事（湖西中学校）		
	2028	・大規模改修工事（湖西中学校）		
	2029	・小学校統合		
	2030			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年）→ 第3期前半（2026年～2030年）

3	施設名	知波田小学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	11,485㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	3,965㎡	建築年・構造	昭和47年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続（東小学校と統合）		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	湖西市学校再編基本計画【北部地区】に基づき、東小学校と知波田小学校を現在の湖西中学校の場所に統合します。また、湖西中学校は、岡崎中学校に統合します。知波田小学校の校舎等の活用方法については、検討をしていく必要があります。		
	事業概要	小学校の統合に伴い、湖西中学校の校舎等を改修します。		
	複合化等検討対象施設	東小学校		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027	・大規模改修工事（湖西中学校）		
	2028	・大規模改修工事（湖西中学校）		
	2029	・小学校統合		
	2030			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年）→ 第3期前半（2026年～2030年）

4	施設名	湖西中学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	25,280㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	9,235㎡	建築年・構造	昭和54年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続（岡崎中学校と統合）		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	湖西中学校は建築後46年が経過していますが、平成21年度及び平成24年度に耐震補強・大規模改修を行っています。 施設は岡崎中学校開設以前の規模であり、教室の余剰が多く、その有効活用が課題となっています。		
	事業概要	湖西市学校再編基本計画【北部地区】に基づき、東小学校と知波田小学校を現在の湖西中学校の場所に統合します。また、湖西中学校は、岡崎中学校に統合します。 小学校の統合に伴い、湖西中学校の校舎等を改修します。また、中学校の統合に伴い、岡崎中学校の校舎の増築及び既存校舎の改修を行います。		
	複合化等検討対象施設	岡崎中学校		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027	・大規模改修工事（湖西中学校）	350百万円	
	2028	・大規模改修工事（湖西中学校）	350百万円	
	2029	・小学校統合		
	2030			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年）→ 第3期前半（2026年～2030年）

5	施設名	岡崎中学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	50,766㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	9,581㎡	建築年・構造	平成19年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続（湖西中学校と統合）		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	岡崎中学校は建築後18年と比較的新しい施設であり、トイレのドライ化に適應しています。		
	事業概要	湖西中学校との統合に伴い、校舎の増築及び既存校舎の改修を行います。また、統合の改修に併せてトイレの洋式化を実施します。 給食施設については、令和12年度より給食センターからの受け入れを行う予定です。		
	複合化等検討対象施設	湖西中学校		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	・校舎増築等工事	260.5百万円	
	2027	・校舎増築等工事	464.6百万円	▲447㎡
	2028	・中学校統合		
	2029			
	2030			

※ ▲は面積増加を示します。

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第4期（2036年～2045年）→ 第3期前半（2026年～2030年）

6	施設名	消防団第2分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	487㎡	土地所有	市
	延床面積	67㎡	建築年・構造	平成2年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	消防団第2分団詰所は、鷺津地区に位置し、第2分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後35年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。 なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第2分団は現状維持となります。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 前 半	2026			
	2027	・実施設計	2.7百万円	
	2028	・大規模改修工事	15百万円	
	2029			
	2030			

7	施設名	消防本部	所管課	消防総務課
	敷地面積	5,071㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	1,286㎡	建築年・構造	昭和48年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	建て替え		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	消防本部は、市の中央部に位置し、消防署南分署・消防署西分署とともに、市民の安全・安心を確保する消防施設です。 施設は建築後52年が経過し、建物本体の老朽化や庁舎周辺の地盤沈下が発生しており、耐震性が劣るため、その対応が課題となっています。 また、古見川流域の砂泥質地盤に建設されており、消防車両の出動や走行が困難となることが予測されています。		
	事業概要	地震及び軟弱地盤への対策のため、地盤改良を行い、新施設（訓練棟を含む）を建設します。既存施設は、新施設建設後に行う通信指令装置及び消防救急デジタル無線の更新後に解体を行います。 また、新施設建設後、消防力を最大限に有効活用できるよう新たな出動態勢を構築し、市民の安全・安心の向上を図ります。		
	複合化等検討対象施設	防災センター、災害対策本部機能、市役所サーバー室		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 前 半	2026	・ 既存施設の解体工事 ・ 第2期建設工事	1,500百万円	1,066㎡
	2027	・ 第2期建設工事		▲902㎡
	2028			
	2029			
	2030			

※ ▲は面積増加を示します。

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期前半（2026年～2030年）

8	施設名	分川住宅	所管課	建築住宅課
	敷地面積	4,145㎡	土地所有	市
	延床面積	A棟 850㎡ B棟 850㎡ C棟 607㎡ D棟 607㎡ 合計 2,914㎡	建築年・構造	平成4年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	分川住宅は、鷺津地区のほぼ中心にある市営住宅であり、病院、店舗、駅が近いことから、入居希望者が多い状況です。 本施設は、建築後33年が経過し、外壁・屋根・設備の老朽化が進んでおり、その改修や更新が必要です。		
	事業概要	市営住宅を適正に維持管理するための「湖西市営住宅長寿命化計画」に基づき施設の改修工事を実施することで長寿命化を図ります。 また、今後は利用者の推移を踏まえ、現状の規模を維持します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	・実施設計（D棟） ・外壁改修工事（B・C棟）	52百万円	
	2027	・外壁改修工事（D棟）	80百万円	
	2028			
	2029			
	2030			

9	施設名	湖西市笠子廃棄物処分場	所管課	廃棄物対策課
	敷地面積	122,858㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	509㎡	建築年・構造	昭和53年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	湖西市笠子廃棄物処分場は、廃棄物を安全に埋め立て、生活環境の保全を図るために設置された廃棄物処分場です。現在、新居一般廃棄物処分場にて埋立てを行っているため、休止の状態です。 施設は建築後47年が経過し、令和元年度から令和2年度にかけて浸出水処理施設の長寿命化を図る改修を行いました。 環境センターの再稼働に伴う埋立容量の確保が課題となっています。		
	事業概要	浸出水処理施設の長寿命化の改修工事を行ったことから、今後は計画的な維持修繕を行います。 また、安定型埋立地部分を廃止し、管理型埋立地を拡張することで埋立容量の確保を図ります。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	・地盤改良工事	95百万円	
	2027	・地盤改良工事 ・浸出水放流施設基本設計	183百万円	
	2028	・地盤改良工事 ・浸出水放流施設実施設計	656百万円	
	2029	・拡張工事 ・浸出水放流施設建設工事	833百万円	
	2030	・拡張工事 ・浸出水放流施設建設工事	840百万円	

10	施設名	新居町駅西自転車等駐車場	所管課	都市計画課
	敷地面積	2,711m ²	土地所有	市
	延床面積	986m ²	建築年・構造	昭和59年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続（施設は撤去）		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	新居町駅西自転車等駐車場は、通勤や通学のために新居町駅を利用する自転車利用者のために建設され、年間を通じて地域住民に利用されています。 施設は建築後41年が経過し、外壁・躯体の老朽化が進んでおり、維持管理が課題となっています。		
	事業概要	外壁・躯体の老朽化の状況、公共施設の安全性確保の観点から、できるだけ早期に施設の解体工事を計画します。駐車場部分は継続します。 また、解体後の管理運営方法について、利用者アンケートや利用者数の推移を踏まえて検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	・ 解体に向けた方針検討	5百万円	
	2027	・ 解体に向けた方針検討、調査	8百万円	
	2028	・ 解体工事設計	38.9百万円	
	2029	・ 解体工事	40百万円	986m ²
	2030			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期前半（2026年～2030年）

11	施設名	湖西市営火葬場	所管課	環境課
	敷地面積	9,532㎡	土地所有	市
	延床面積	325㎡	建築年・構造	昭和43年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	廃止		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）		
	現状と課題	湖西市営火葬場は、市民の火葬を行う施設として営んでまいりましたが、平成22年の市町合併により、湖西市営火葬場と新居斎場やすらぎ苑の2箇所の火葬施設は当市の人口規模からすると過剰という判断から統合する方針を決定し、建築後55年を経過した令和6年3月31日をもって閉鎖しました。		
	事業概要	今後は、市の財政事情を踏まえ、適切な時期に解体工事に着手します。 また、施設解体後の、跡地の有効活用を検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027	・解体工事設計	14百万円	
	2028	・解体工事	130百万円	325㎡
	2029			
	2030			

（令和8年3月見直し内容）

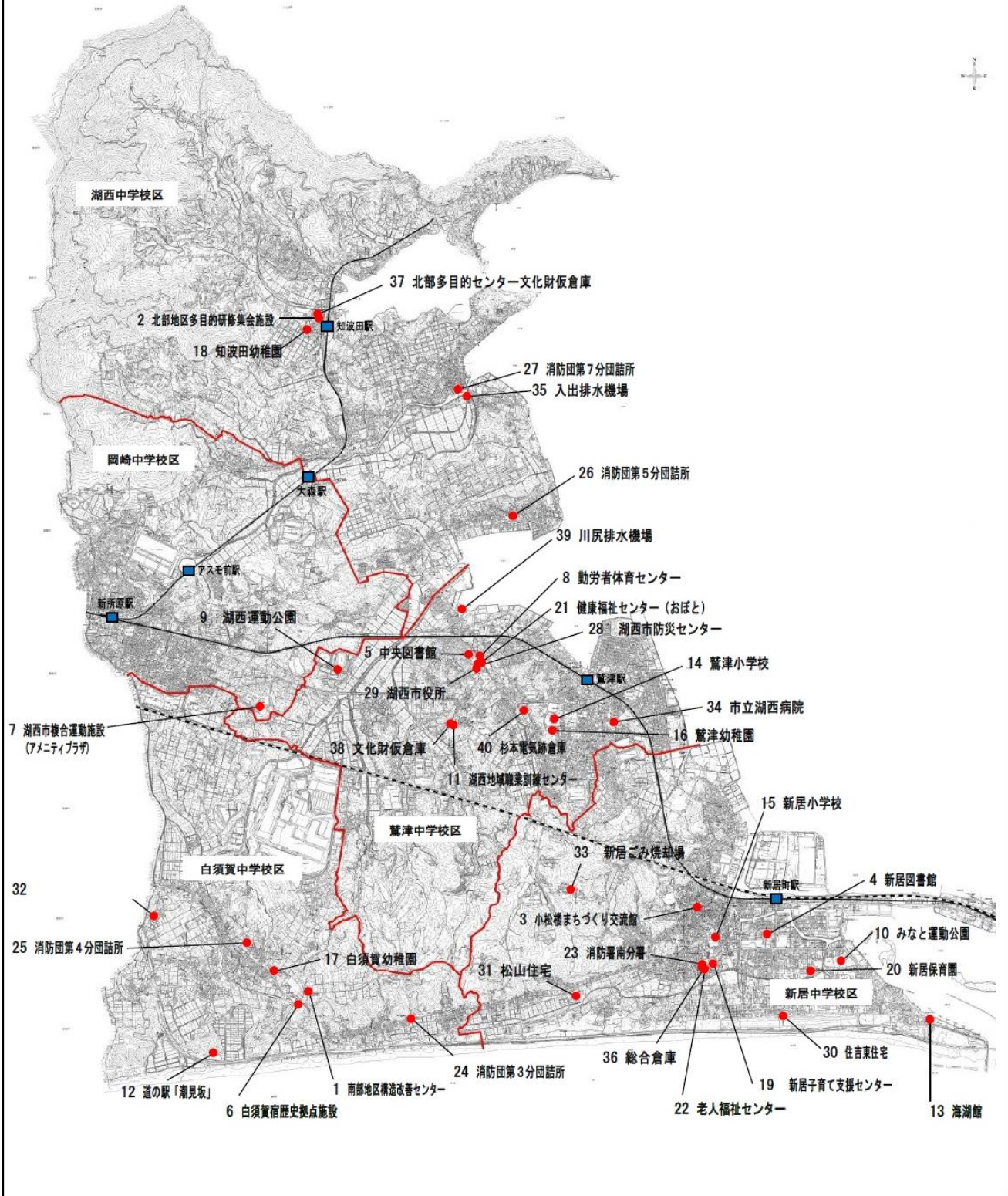
【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期前半（2026年～2030年）

(2) 【短期検討事業（第3期後半 2031－2035）】

No.	ページ	施設名	施設分類	所在地	建築年
1	P 24	南部地区構造改善センター	市民文化系施設	白須賀 5128	平成 6 年
2	P 25	北部地区多目的研修集会施設	市民文化系施設	太田 458-1	昭和 56 年
3	P 26	小松楼まちづくり交流館	市民文化系施設	新居町新居 1190-3	明治 38 年
4	P 27	新居図書館	社会教育系施設	新居町新居 250-5	昭和 59 年
5	P 28	中央図書館	社会教育系施設	吉美 3219-1	昭和 63 年
6	P 29	白須賀宿歴史拠点施設	社会教育系施設	白須賀 900	平成 12 年
7	P 30	湖西市複合運動施設 (アメニティプラザ)	スポーツ・レクリエーション系施設	吉美 3294-48	平成 12 年
8	P 31	勤労者体育センター	スポーツ・レクリエーション系施設	古見 1067-3	昭和 58 年
9	P 32	湖西運動公園	スポーツ・レクリエーション系施設	吉美 830-1	昭和 62 年
10	P 33	みなと運動公園	スポーツ・レクリエーション系施設	新居町新居 3146	平成 4 年
11	P 34	湖西地域職業訓練センター	産業系施設	吉美 2918-1	昭和 62 年
12	P 35	道の駅「潮見坂」	産業系施設	白須賀 1896-2	平成 17 年
13	P 36	海湖館	産業系施設	新居町新居官有無番地	平成 15 年
14	P 37	鷺津小学校	学校教育系施設	鷺津 670	昭和 54 年
15	P 38	新居小学校	学校教育系施設	新居町新居 1770	昭和 60 年
16	P 39	鷺津幼稚園	子育て支援施設	鷺津 650	昭和 63 年
17	P 40	白須賀幼稚園	子育て支援施設	白須賀 4804-1	平成 22 年
18	P 41	知波田幼稚園	子育て支援施設	大知波 503	昭和 60 年
19	P 42	新居子育て支援センター	子育て支援施設	新居町浜名 485	昭和 61 年
20	P 43	新居保育園	子育て支援施設	新居町新居 612-2	昭和 60 年
21	P 44	健康福祉センター（おぼと）	保健・福祉施設	古見 1044	平成 13 年
22	P 45	老人福祉センター	保健・福祉施設	新居町浜名 643-1	昭和 62 年
23	P 46	消防署南分署	行政系施設	新居町浜名 657	平成 6 年
24	P 47	消防団第 3 分団詰所	行政系施設	白須賀 5665-9	平成 2 年
25	P 48	消防団第 4 分団詰所	行政系施設	白須賀 4300-2	昭和 58 年
26	P 49	消防団第 5 分団詰所	行政系施設	新所 6079-8	平成 3 年
27	P 50	消防団第 7 分団詰所	行政系施設	入出 453-17	平成 2 年
28	P 51	湖西市防災センター	行政系施設	吉美 3268	昭和 58 年
29	P 52	湖西市役所	行政系施設	吉美 3268	昭和 49 年
30	P 53	住吉東住宅	公営住宅	新居町新居 3033-5、 3033-9	昭和 63 年
31	P 54	松山住宅	公営住宅	新居町浜名 1674、1675	昭和 46 年

32	P 55	湖西市衛生プラント	供給処理施設	白須賀 3465	昭和 56 年
33	P 56	新居ごみ焼却場	供給処理施設	新居町内山 931-123	平成 4 年
34	P 57	市立湖西病院	病院施設	鷺津 2259-1	昭和 63 年
35	P 58	入出排水機場	その他	内浦 316-3	昭和 52 年
36	P 59	総合倉庫	その他	新居町浜名 657-1	平成 7 年
37	P 60	北部多目的センター文化財倉庫	その他	太田 458-1	昭和 46 年
38	P 61	文化財仮倉庫	その他	吉美 2918-1	平成 3 年
39	P 62	川尻排水機場	その他	吉美 960-4	昭和 52 年
40	P 63	杉本電気跡倉庫	その他	古見 838-1	昭和 55 年

短期検討事業（第3期後半）公共施設位置図



1	施設名	南部地区構造改善センター	所管課	スポーツ・生涯学習課
	敷地面積	4,224㎡	土地所有	市
	延床面積	984㎡	建築年・構造	平成6年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	南部地区構造改善センターは、文化・教養・生きがいづくりや生活・福祉・健康づくりなどの各種講座の開設とこれらの活動を行うサークルの育成を実施する公民館に類似した施設です。 施設は建築後31年が経過し空調設備の劣化などが進んでおり、その改修や更新が必要です。		
	事業概要	地域のにぎわいの創出につながる多機能な施設として、公民館機能の拡充のための大規模改修工事の検討や、生涯学習の一層の充実を図るため、施設の位置付けや役割等について検討します。 また、白須賀宿歴史拠点施設の展示機能との複合化についてもあわせて検討します。		
	複合化等検討対象施設	白須賀宿歴史拠点施設		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・実施設計		
	2032	・大規模改修工事	205百万円	
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期後半（2031年～2035年）

2	施設名	北部地区多目的研修集会施設	所管課	スポーツ・生涯学習課
	敷地面積	3,444㎡	土地所有	市
	延床面積	1,045㎡	建築年・構造	昭和56年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	北部地区多目的研修集会施設は、文化・教養・生きがいづくりや生活・福祉・健康づくりなどの各種講座の開設とこれらの活動を行うサークルの育成を実施する公民館に類似した施設です。 施設は建築後44年が経過し、空調設備の劣化などが進んでおり、その改修や更新が必要です。		
	事業概要	地域のにぎわいの創出につながる多機能な施設として、公民館機能の拡充のための大規模改修工事の検討や、生涯学習の一層の充実を図るため、施設の位置付けや役割等について検討します。 また、周辺の公共施設との機能集約・複合化についても合わせて検討します。		
	複合化等検討対象施設	湖西市はつらつセンター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032	・実施設計		
	2033	・大規模改修工事	218百万円	
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期後半（2031年～2035年）

3	施設名	小松楼まちづくり交流館	所管課	文化観光課
	敷地面積	265㎡	土地所有	市
	延床面積	248㎡	建築年・構造	平成22年（明治38年）・木造
	再配置の方向性	継続（文化財として保存）		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	小松楼まちづくり交流館は、登録有形文化財の建物を活用した地域コミュニティ活動の施設です。 施設は改修整備後15年が経過していますが、文化財として保存が必要であるとともに、市民をはじめ多くの人に訪れていただくよう、地域全体として旧宿場の歴史を活かしたまちづくりが求められています。また、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。 なお、施設管理に指定管理者制度を導入しています。		
	事業概要	歴史散策やウォーキングで訪れる人たちの休憩や地域の歴史・文化を学ぶ等、活動や交流の場となるもので、地域からの要望を参考にしながら継続利用が可能となるよう改修工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・外壁塗装	3百万円	
	2032			
	2033			
	2034			
	2035			

4	施設名	新居図書館	所管課	図書館
	敷地面積	2,000㎡	土地所有	市
	延床面積	1,530㎡	建築年・構造	昭和59年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続(複合化を検討)		
	実施時期	第3期後半(2031年～2035年)		
	現状と課題	新居図書館は、地域住民の生涯学習の場、情報発信の施設として、活用されています。 施設は建築後41年が経過し、屋根や設備等の劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。		
	事業概要	施設改修にあたっては、図書館機能の充実を図るとともに、新居地域センターの窓口サービス、子育て支援センター、老人福祉センターとの機能集約、複合化を検討します。 また、施設改修に合わせ、駐車場の拡張を検討します。		
	複合化等検討対象施設	新居地域センター、新居子育て支援センター、老人福祉センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・複合化の検討	3百万円	
	2032	・複合化の検討		
	2033	・複合化の検討		
	2034	・実施設計		
	2035	・大規模改修工事	320百万円	

5	施設名	中央図書館	所管課	図書館
	敷地面積	10,809㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	2,474㎡	建築年・構造	昭和63年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	中央図書館は、地域住民の生涯学習の場、情報発信の施設として、活用されています。 施設は建築後37年が経過し、建物本体の劣化や建物周辺の地盤沈下が課題となっています。		
	事業概要	施設改修にあたっては、図書館機能の拡充を行い、市民にとって利用しやすく、生涯学習サービスのさらなる向上や、市民が集い交流できる空間づくりを目指します。 また、施設改修に合わせ、駐車場の拡張を検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033	・実施設計		
	2034	・大規模改修工事	519百万円	
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年） → 第3期後半（2031年～2035年）

6	施設名	白須賀宿歴史拠点施設	所管課	文化観光課
	敷地面積	5,076㎡	土地所有	市
	延床面積	270㎡	建築年・構造	平成12年・鉄骨造
	再配置の方向性	廃止（機能移転）		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	白須賀宿歴史拠点施設は、旧東海道の散策者の休憩施設として建設され、東海道五十三次の32番目の宿場であった白須賀宿の歴史を伝える機能を持っています。 施設は建築後25年が経過化し、歴史展示施設の性格上、内外装は木造の景観を活かしているため、老朽化が進んでいます。 近年、入館者数は横ばいの状態が続いており、市民をはじめ多くの人に訪れていただくよう、展示機能のさらなる充実が求められています。		
	事業概要	旧宿場の歴史展示施設として、旧東海道散策やウォーキングで訪れる人たちの休憩や歴史・文化を学ぶ等、活動や交流の場としての機能を、周辺の公共施設へ移転し、地域の活性化に資する施設として複合化を実施します。 また、収集されている歴史資料の整理を実施していく必要があり、スペースの有効活用を検討します。		
	複合化等検討対象施設	南部地区構造改善センター、白須賀幼稚園		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・ 資料移動		
	2032	・ 施設機能の移転		
	2033	・ 解体工事設計・解体工事	9百万円	270㎡
	2034	・ 跡地の有効活用の検討		
	2035			

7	施設名	湖西市複合運動施設 (アメニティプラザ)	所管課	スポーツ・生涯学習課
	敷地面積	116,959㎡	土地所有	市
	延床面積	13,362㎡	建築年・構造	平成12年・ 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
	再配置の 方向性	継続		
	実施時期	第3期前半(2026年～2030年)、第3期後半(2031年～2035年)		
	現状と課題	令和5年度に、湖西市環境センターの焼却施設再稼働に伴う大規模改修工事及びプール内施設(造波プール)の改修工事を実施しています。 施設は建築後25年が経過し、電気設備・空調設備の劣化などが進んでおり、その改修や更新が必要です。 また、市の避難所に指定されているため、特定天井の改修やガラス飛散防止対策が求められています。		
	事業概要	スポーツを通じた健康づくりやサークル活動などの拠点施設として、機能の一層の充実や利用者の安全性の確保のための改修工事を実施します。 あわせて、周辺の公共施設との機能集約について検討します。		
	複合化等検討対象施設	勤労者体育センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028	・機能集約の検討		
	2029	・機能集約の検討		
	2030	・機能集約の検討		
3期後半	2031	・基本設計	80百万円	
	2032	・詳細設計	80百万円	
	2033	・実施設計、大規模改修工事	775百万円	
	2034			
	2035			

(令和8年3月見直し内容)

【実施時期】第2期(2021年～2025年) → 第3期後半(2031年～2035年)

8	施設名	勤労者体育センター	所管課	スポーツ・生涯学習課
	敷地面積	3,810㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	1,509㎡	建築年・構造	昭和58年・鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
	再配置の方向性	継続(複合化を検討)		
	実施時期	第3期後半(2031年～2035年)		
	現状と課題	勤労者体育センターは、勤労者の福祉の増進を目的とした体育館です。 施設は建築後42年が経過し、老朽化や機能低下が進んでおり、その改修や更新が必要です。		
	事業概要	スポーツを通じた健康づくりやサークル活動などの拠点施設として、機能の一層の充実や利用者の安全性の確保のため、改修工事を実施します。 また、他の公共施設との複合化について検討します。		
	複合化等検討対象施設	アメニティプラザ、新居体育館		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・実施設計		
	2032	・大規模改修工事	108百万円	
	2033			
	2034			
	2035			

9	施設名	湖西運動公園	所管課	スポーツ・生涯学習課
	敷地面積	123,278㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	1,326㎡	建築年・構造	昭和62年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	湖西運動公園は、陸上競技場、野球場、テニスコート、弓道場、多目的広場の機能を有する施設として建設され、年間を通じて利用されています。 最も古い施設は建築後38年が経過し、老朽化や設備の機能低下が進んでおり、その改修や更新が必要です。		
	事業概要	スポーツを通じた健康づくりやサークル活動などの拠点施設として、機能の一層の充実や利用者の安全性の確保のため、改修工事を実施します。 また、テニスコート及び弓道場について、他施設との機能集約を検討します。		
	複合化等検討対象施設	アメニティプラザ、新居体育館、みなと運動公園		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・実施設計		
	2032	・大規模改修工事	95百万円	
	2033			
	2034			
	2035			

10	施設名	みなと運動公園	所管課	スポーツ・生涯学習課
	敷地面積	44,070㎡	土地所有	借用
	延床面積	255㎡	建築年・構造	平成4年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続（規模縮小）		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	みなと運動公園は、野球場、多目的広場の機能を有する施設として建設され、年間を通じて利用されています。 施設は建築後33年が経過し、老朽化や機能低下が進んでおり、その改修や更新が必要です。また、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。		
	事業概要	スポーツを通じた健康づくりやサークル活動などの拠点施設として、機能の一層の充実や利用者の安全性の確保のため、改修工事を実施します。 また、施設改修に合わせ、管理棟観覧席を廃止し、管理人控室・倉庫・トイレを備えた施設を整備します。		
	複合化等検討対象施設	湖西運動公園		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・実施設計		
	2032	・大規模改修工事（減築）	18百万円	172㎡
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期後半（2031年～2035年）

11	施設名	湖西地域職業訓練センター	所管課	産業振興課
	敷地面積	6,224㎡	土地所有	市
	延床面積	2,010㎡	建築年・構造	昭和62年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続（規模縮小）		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	湖西地域職業訓練センターは、職業能力の開発、向上を図る研修の機会を提供する施設です。 施設は建築後38年が経過し、電気設備・空調設備の劣化などが進んでおり、その改修や更新が必要です。 また、倉庫として使用している旧校舎は老朽化が著しいことから、できる限り早期に解体することが求められています。		
	事業概要	職業能力開発の機能を有する施設として、機能の維持や利用者の安全性の確保のため、定期的な修繕を実施します。 また、旧校舎を早期に解体するとともに、その敷地の有効活用を検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033	・跡地（一部）の有効活用の検討		
	2034	・倉庫内の資機材の移転 ・旧校舎の解体工事設計		
	2035	・旧校舎の解体工事	18百万円	519㎡

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年） → 第3期後半（2031年～2035年）

12	施設名	道の駅「潮見坂」	所管課	文化観光課
	敷地面積	5,392㎡	土地所有	市
	延床面積	571㎡	建築年・構造	平成17年・木造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	道の駅「潮見坂」は、市の特産品の販売や観光案内などの地域振興を行う施設です。施設は建築後20年が経過し、電気設備や空調設備の不具合が多数発生しており、その対応が課題となっています。		
	事業概要	地域のにぎわいの創出につながる多機能型の施設として、機能の一層の充実や利便性の向上のため、改修工事を実施します。 また、指定管理者制度の導入やPFI手法等の民間活力を活用した運営方法への変更を検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028	・運営方法の見直し検討		
	2029	・必要最低限の補修、修繕 ・運営者の募集・選定		
	2030	・選定運営者による事業開始		
3期後半	2031			
	2032			
	2033	・本館実施設計		
	2034	・本館大規模改修工事	40百万	
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期後半（2031年～2035年）

13	施設名	海湖館	所管課	文化観光課
	敷地面積	347㎡	土地所有	借用
	延床面積	553㎡	建築年・構造	平成15年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	海湖館は、浜名湖観光の拠点施設として、貝殻クラフト体験やバーベキュー場の運営を行っています。また、牡蠣小屋や魚・うなぎつかみ取り体験が好評で、観光客の集客に貢献しています。 施設は建築後22年が経過し、今後、電気設備・空調設備などの不具合の発生が予測されることから、その対策を進める必要があります。また、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。		
	事業概要	浜名湖観光圏におけるブランドコンセプト「海の湖」を象徴する観光拠点として機能の一層の充実を図るため、民間活力を活用した地域のにぎわいの場の創出を検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033	・実施設計		
	2034	・大規模改修工事	40百万	
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年） → 第3期後半（2031年～2035年）

14	施設名	鷺津小学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	24,190㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	9,892㎡	建築年・構造	昭和54年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	鷺津小学校の校舎は、昭和45年から昭和60年の期間に建設されており、最も古い南校舎は建築後55年が経過しています。 施設の老朽化や電気設備の劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。 また、トイレの洋式化・ドライ化に適応できていません。		
	事業概要	施設の長寿命化を図るため、計画的な維持修繕、大規模改修工事及びトイレの洋式化・ドライ化を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028			
	2029			
	2030	・実施設計		
3期後半	2031	・大規模改修工事	791百万円	
	2032	・大規模改修工事	924百万円	
	2033	・大規模改修工事	552百万円	
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年） → 第3期後半（2031年～2035年）

15	施設名	新居小学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	28,321㎡	建築年	市・借用
	延床面積	10,155㎡	建築年・構造	昭和60年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	新居小学校は建築後40年が経過し、施設の老朽化や電気設備の劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。 現在、1学年2～4学級の規模で運営していますが、今後も児童数は減少することが予測されています。		
	事業概要	施設の長寿命化を図るため、計画的な維持修繕、大規模改修工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・実施設計		
	2032	・大規模改修工事	506百万円	
	2033	・大規模改修工事	1,651百万円	
	2034	・大規模改修工事	1,156百万円	
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年）→ 第3期後半（2031年～2035年）

16	施設名	鷺津幼稚園	所管課	保育幼稚園課
	敷地面積	7,181㎡	土地所有	市
	延床面積	1,989㎡	建築年・構造	平成2年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	鷺津幼稚園は建築後35年が経過し、雨漏りや外壁や電気設備の劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。 令和5年度以降、園児数は急激に減少している一方、保育ニーズは横ばい又は微増を続けており、入所待ち児童が発生している状況です。長期的な視点から市の教育・保育体制を見据えた上で改修・規模縮小・こども園化等施設の在り方を検討し、早期に方針を示す必要があります。		
	事業概要	施設の長寿命化を図るため、計画的な維持修繕を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028			
	2029			
	2030	・耐力度調査 ・改修方針決定		
3期後半	2031	・実施設計（改修の場合）		
	2032	・大規模改修工事（改修の場合）	416百万円	
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年）→ 第3期後半（2031年～2035年）

17	施設名	白須賀幼稚園	所管課	保育幼稚園課
	敷地面積	7,077㎡	土地所有	市
	延床面積	1,095㎡	建築年・構造	平成22年・鉄骨造
	再配置の方向性	転用・譲渡		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	白須賀幼稚園は令和5年度末をもって閉園し、現在は再利用の用途について検討中です。 建築後15年と比較的新しい施設ですが、譲渡を行わず市所有のまま転用する場合、今後、電気設備・空調設備などの不具合の発生が予測されることから、その対策を進める必要があります。		
	事業概要	再利用の検討の結果、市所有のまま転用する場合は、施設の長寿命化を図るための計画的な維持修繕と大規模改修工事も検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	再利用の用途について検討		
	2027	再利用の用途について決定		
	2028			
	2029			
	2030			
3期後半	2031	・実施設計		
	2032	・大規模改修工事		
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【【再配置の方向性】継続 → 転用・譲渡

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年）→ 第3期後半（2031年～2035年）

18	施設名	知波田幼稚園	所管課	保育幼稚園課
	敷地面積	4,677m ²	建築年	市・借用
	延床面積	675m ²	建築年・構造	昭和60年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	知波田幼稚園は昭和60年の改築から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。 また、園児数の減少が著しく進んでおり、園運営が困難になることが危惧されています。		
	事業概要	新所幼稚園の閉園により湖西中学校区で唯一の公立園となっており、民間園を含めても現在2園のみですが、中学区内の未就園児数が減少していることから、慎重に存続の可否を検討します。 存続する場合は、大規模改修を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	・ 存続方針決定		
	2027			
	2028			
	2029			
	2030			
3期後半	2031	・ 実施設計（存続の場合）		
	2032	・ 大規模改修工事（存続の場合）	142百万円	
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【【再配置の方向性】継続（新所幼稚園と統合） → 継続

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年）→ 第3期後半（2031年～2035年）

19	施設名	新居子育て支援センター	所管課	こども未来課
	敷地面積	5,454㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	1,493㎡	建築年・構造	昭和61年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続(複合化を検討)		
	実施時期	第3期後半(2031年～2035年)		
	現状と課題	新居子育て支援センターは、子育て世代を支援する子育て支援拠点施設であり、各種子育て講座の開催や親子の交流の場の提供をしています。 施設は建築後39年が経過し、今後、電気設備・給排水設備などの不具合の発生が予測されることから、その対策を進める必要があります。また、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。		
	事業概要	改修にあたっては、子育て支援機能の充実を図るとともに、新居地域センターの窓口サービス、新居図書館、老人福祉センターとの機能集約、複合化について検討します。		
	複合化等検討対象施設	新居地域センター、新居図書館、老人福祉センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・複合化の検討		
	2032	・複合化の検討		
	2033	・複合化の検討		
	2034	・実施設計		
	2035	・大規模改修工事	312百万円	

20	施設名	新居保育園	所管課	保育幼稚園課
	敷地面積	5,000㎡	土地所有	市
	延床面積	983㎡	建築年・構造	昭和60年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	廃止		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	新居保育園は建築後40年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。 園舎等解体後の跡地の有効活用についての検討が必要です。		
	事業概要	解体工事を実施するとともに、跡地の有効活用を検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・解体工事設計	5百万円	
	2032	・解体工事	95百万円	983㎡
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期後半（2031年～2035年）

21	施設名	健康福祉センター（おぼと）	所管課	健康増進課
	敷地面積	3,301m ²	土地所有	市・借用
	延床面積	4,038m ²	建築年・構造	平成13年・鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
	再配置の方向性	継続（複合化を検討）		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	健康福祉センターは、子育て世代及び高齢者、障害者等に対し、健康づくりや生きがいづくり、子育て支援などの各種活動やサービスを実施する拠点施設です。 旧保健センターを増築して建設した施設であり、建築後24年が経過し、建物本体の老朽化や外壁、設備の劣化が著しい状況です。また、災害時の救護所等の資機材保管場所の確保が課題となっています。 市役所新庁舎建設に伴い行政機能（1階執務室等）が移転となる見込みのため、今後の健康福祉センターの在り方や活用・管理運営方法を検討していく必要があります。		
	事業概要	経年劣化に伴う設備故障について、利用者の快適性と安全性確保のため、修繕工事を進めます。また、周辺の公共施設との複合化について検討します。 なお、施設の改修工事に合わせて、借用団体の移転も進めます。		
	複合化等検討対象施設	市役所、市民活動センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028			
	2029	市役所の建て替え延期に伴い移転時期が未定のため、詳細が決まった時点で個別・具体的に計上		
	2030			
3期後半	2031			
	2032			
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年）→ 第3期後半（2031年～2035年）

22	施設名	老人福祉センター	所管課	高齢者福祉課
	敷地面積	6,724㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	1,326㎡	建築年・構造	昭和62年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続(転用、複合化を検討)		
	実施時期	第3期後半(2031年～2035年)		
	現状と課題	老人福祉センターは、高齢者に対し、健康づくりや生きがいづくり、交流を促進することを目的に建設された施設です。 施設は建築後38年が経過し、電気設備・給排水設備などの劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。また、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。 なお、2021年度から施設管理に指定管理者制度を導入してきましたが、新たな指定管理者の応募がなかったため、2026年度以降は従前の管理方式となります。		
	事業概要	高齢者の健康づくりや生きがいづくり、交流を促進するとともに、機能の一層の充実や利用者の安全性の確保のため、必要により改修工事を実施します。 また、周辺の公共施設との複合化について検討します。		
	複合化等検討対象施設	新居地域センター、新居図書館、新居子育て支援センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期後半	2031	・複合化の検討		
	2032	・複合化の検討		
	2033			
	2034	・実施設計		
	2035	・大規模改修工事	280百万円	

(令和8年3月見直し内容)

【実施時期】第3期前半(2026年～2030年) → 第3期後半(2031年～2035年)

23	施設名	消防署南分署	所管課	消防総務課
	敷地面積	824㎡	土地所有	市
	延床面積	861㎡	建築年・構造	平成6年・鉄筋コンクリート造
	再配置の 方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	消防署南分署は、遠州灘沿岸から900m、海拔3.7mの場所に位置し、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域内にあります。 新居地区の住宅密集地の殆どは津波浸水想定区域内にあるため、津波の襲来により消防車両の出動や走行が困難となることが予測されますが、通常の火災や救急事案における消防車両の現場到着時間を考慮すると、適正な位置となっています。 施設は建築後31年が経過し、電気設備・空調設備・内装の劣化が進んでおり、その対応が必要となっています。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として計画的に維持更新を行い、施設の長寿命化を図ります。 また、今後、消防力を最大限に有効活用できるよう新たな出動態勢を構築し、市民の安全・安心の向上を図ります。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・ 基本設計・実施設計	28百万円	
	2032	・ 大規模改修工事	153百万円	
	2033	・ 大規模改修工事	102百万円	
	2034			
	2035			

24	施設名	消防団第3分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	100m ²	土地所有	市
	延床面積	67m ²	建築年・構造	平成2年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	消防団第3分団詰所は、白須賀地区に位置し、第3分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 津波浸水想定区域内にあるため、津波の襲来により消防車両の出動や走行が困難となることが予測されますが、通常の火災事案等における消防車両の現場到着時間を考慮すると、適正な位置となっています。 施設は建築後35年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第3分団は第4分団と統合し新第3分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第4分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032	・実施設計	2.7百万円	
	2033	・大規模改修工事	15百万円	
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年） → 第3期後半（2031年～2035年）

25	施設名	消防団第4分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	42㎡	土地所有	借用
	延床面積	72㎡	建築年・構造	昭和58年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	消防団第4分団詰所は、白須賀地区に位置し、第4分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後42年が経過し、平成6年に改修工事を行っていますが、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第4分団は第3分団と統合し新第3分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第3分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033			
	2034	・実施設計	2.8百万円	
	2035	・大規模改修工事	16百万円	

26	施設名	消防団第5分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	167m ²	土地所有	市
	延床面積	67m ²	建築年・構造	平成3年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	消防団第5分団詰所は、新所地区に位置し、第5分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後34年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第5分団は第7分団と統合し新第5分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第7分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033			
	2034	・実施設計	2.7百万円	
	2035	・大規模改修工事	15百万円	

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年） → 第3期後半（2031年～2035年）

27	施設名	消防団第7分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	81㎡	土地所有	市
	延床面積	64㎡	建築年・構造	平成2年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	消防団第7分団詰所は、入出地区に位置し、第7分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後35年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第7分団は第5分団と統合し新第5分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第5分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・実施設計	2.7百万円	
	2032	・大規模改修工事	14百万円	
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第3期前半（2026年～2030年） → 第3期後半（2031年～2035年）

28	施設名	湖西市防災センター	所管課	危機管理課
	敷地面積	185㎡	土地所有	市
	延床面積	355㎡	建築年・構造	昭和58年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	複合化		
	実施時期	3期後半(2031年～2035年)		
	現状と課題	湖西市防災センターは、災害対策室及び防災資機材倉庫として利用することを目的とした施設です。 施設は建築後42年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。 また、災害発生時の運用において、災害対策室のスペースに不足が予想されています。		
	事業概要	新消防防災センター建設に伴い、災害に強い庁舎と危機管理機能の複合化を図ることから、不用となる施設を解体します。		
	複合化等検討対象施設	消防本部		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期後半	2026			
	2027		詳細が定まった時点で個別具体的に計上	
	2028			
	2029			
	2030			

(令和8年3月見直し内容)

※事業開始時期については中期財政計画に基づいて決定しますが、仮に3期後半に記載しています。

29	施設名	湖西市役所	所管課	資産経営課
	敷地面積	16,633㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	6,535㎡	建築年・構造	昭和49年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	建て替え(複合化)		
	実施時期	3期後半(2031年～2035年)		
	現状と課題	市役所は、市民サービスの提供や市の行政事務を行うことを目的に設置した施設です。施設は建築後51年が経過し、建物本体の老朽化や空調やエレベーター設備などの機能の低下が著しい状況です。また、旧耐震基準の施設のため平成8年に耐震補強工事を実施していますが、補強後24年が経過し経年劣化等の耐震性について課題があります。 事務スペースが少ないため、行政事務の一部を湖西市民活動センターで実施している、会議室が少ないなどの課題や、多くの市民が利用する施設であるがバリアフリー化できていないといった課題もあります。		
	事業概要	市役所の建て替えの内容等の方針を検討し、第3期の期間中での整備を目指します。また、周辺の公共施設との複合化、民間活力の活用を含めて計画します。		
	複合化等検討対象施設	健康福祉センター（おぼと）、市民活動センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期後半	2031			
	2032		詳細が定まった時点で個別具体的に計上	
	2033			
	2034			
	2035			

(令和8年3月見直し内容)

※事業開始時期については中期財政計画に基づいて決定しますが、仮に3期後半に記載しています。

30	施設名	住吉東住宅	所管課	建築住宅課
	敷地面積	8,288㎡	土地所有	市
	延床面積 建築年 構造	A棟 1,830㎡ 昭和61年・鉄筋コンクリート造 B棟 1,520㎡ 昭和62年・鉄筋コンクリート造 C棟 1,477㎡ 平成9年・鉄筋コンクリート造 高齢者棟 238㎡ 平成10年・木造 合計 5,065㎡		
	再配置の 方向性	継続（規模縮小）		
	実施時期	3期前半（2026年～2030年）、3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	住吉東住宅は、新居地区にある市営住宅です。 最も古い施設は建築後39年が経過し、外壁・屋根・給排水設備等の老朽化が進んでおり、その改修や更新が必要です。 静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域内に位置しているため、入居希望者は少なく、空室が増加している状況となっています。		
	事業概要	A棟及びB棟について空室が増加しているため、A棟の廃止及びB棟のリモデル化や他の市営住宅との統廃合を検討します。また、C棟については築年数が浅いため、「湖西市営住宅長寿命化計画」に基づき施設の改修工事を実施することで長寿命化を図りつつ、今後の利用者の推移を踏まえ施設の廃止を検討します。 高齢者棟については、耐用年数まで利用後、入居者の推移を踏まえ解体します。		
	複合化等検討対象施設	松山住宅、天当山住宅、五田住宅		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	・リモデルや統廃合の方針検討及び決定		
	2027	・方針決定事業の実施 （リモデルの場合_設計・工事等） （統廃合の場合_解体・売却等）		
	2028	〃		
	2029	〃		
	2030	〃		
3期後半	2031			
	2032	・実施設計（C棟）		
	2033	・大規模改修工事C棟）	31百万円	
	2034	・解体工事設計（高齢者棟）		
	2035	・解体工事（高齢者棟）	6百万円	238㎡

31	施設名	松山住宅	所管課	建築住宅課
	敷地面積	5,094㎡	土地所有	市・借用
	延床面積 建築年 構造	A棟 1,092㎡ 昭和46年・鉄筋コンクリート造 B棟 1,060㎡ 昭和47年・鉄筋コンクリート造 C棟 1,153㎡ 昭和48年・鉄筋コンクリート造 合計 3,305㎡		
	再配置の 方向性	廃止		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	松山住宅は、新居地区にある市営住宅です。 最も古い施設は建築後54年が経過し、施設の機能低下が著しい状態です。 静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域内に位置し、また、建設年度が古い施設のため住宅設備の仕様水準が低く、入居希望者は少ない状況となっています。		
	事業概要	本施設は、今後の利用者の推移を踏まえ、他の市営住宅に統合し、2035年までに廃止します。また、A棟について老朽化が著しいため、早期の廃止を検討します。		
	複合化等検討対象施設	五田住宅、住吉東住宅		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 前 半	2026	・用途廃止の検討 ・入居者移転の準備 （移転計画の作成等）		
	2027	〃		
	2028	〃		
	2029	〃		
	2030	〃		
3 期 後 半	2031	・入居者移転		
	2032	〃		
	2033	〃		
	2034	・解体工事設計		
	2035	・解体工事	149百万円	3,305㎡

32	施設名	湖西市衛生プラント	所管課	廃棄物対策課
	敷地面積	21,512㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	1,617㎡	建築年・構造	昭和56年・鉄骨造
	再配置の方向性	廃止（湖西市浄化センターとの統合）		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	湖西市衛生プラントは、市内で排出されるし尿及び浄化槽汚泥の処理を行う施設として重要な施設となっています。 施設は建築後60年以上経過しており、平成26年度から平成28年度にかけて大規模改修工事を実施しましたが、今後も継続して使用する場合、令和16年度末までに主要な設備の更新が必要となります。 また、市内污水处理の公共下水道事業において、当初計画では、市内全域を処理する予定で整備を進めてきましたが、将来の人口減少等の社会情勢を踏まえ令和3年に計画区域を縮小したことで、今後もし尿浄化槽汚泥の処理業務が必要となります。		
	事業概要	市内の污水处理の統一化を図るため、湖西浄化センター内へし尿浄化槽汚泥の受入施設の増設および水処理施設の共同化を行い、衛生プラントを廃止します。 また、廃止後の跡地利用の検討を進めます。		
	複合化等検討対象施設	湖西浄化センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028			
	2029			
	2030			
3期後半	2031	上下水道課と協議を進め、費用負担などの詳細が定まった時点で個別具体的に計上		
	2032			
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【再配置の方向性】継続→廃止（湖西市浄化センターとの統合）

33	施設名	新居ごみ焼却場	所管課	廃棄物対策課
	敷地面積	31,877m ²	土地所有	市
	延床面積	1,927m ²	建築年・構造	平成4年・鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
	再配置の方向性	廃止		
	実施時期	第3期後半(2031年～2035年)		
	現状と課題	新居ごみ焼却場は、平成23年度から休止し、平成25年に用途廃止しています。施設は建築後33年が経過し、建物の老朽化が進んでいることから、早期に解体工事をする必要があります。現在、車庫棟は防災倉庫として使用しています。		
	事業概要	再稼働計画がないことから解体を進めるとともに、施設の跡地は災害廃棄物の仮置場用地等の有効活用の検討を進めます。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028			
	2029		詳細が定まった時点で個別具体的に計上	
	2030	・跡地利用調査及び整備計画作成		
3期後半	2031	・解体工事発注仕様書等作成支援		
	2032	・解体工事及び跡地整備		
	2033	・解体工事及び跡地整備		1,590m ²
	2034			
	2035			

34	施設名	市立湖西病院	所管課	湖西病院
	敷地面積	19,727㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	13,357㎡	建築年	昭和63年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続 または 建て替え		
	実施時期	第3期前半（2026年～2030年）、第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	市立湖西病院は、市民の健康保持に必要な医療を提供するとともに、地域における中核病院として入院医療及び専門外来を運営する重要な施設となっています。 施設は建築後36年が経過し、施設の老朽化や設備の機能低下が進み、その改修や更新が必要です。		
	事業概要	本施設は、地域における基幹病院・中核病院として質の高い医療を市民に提供するため、建て替えを含めた検討を行います。 また、民間活力の導入による施設の維持・運営の効率化を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026			
	2027			
	2028			
	2029			
	2030	継続（大規模改修）または建て替えに必要な計画策定、設計、工事などの各種作業の内容や費用については、方向性と実施時期が定まった段階で個別具体的に計上		
3期後半	2031			
	2032			
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【再配置の方向性】継続 → 継続 または 建て替え

【実施時期】第2期、第3期前半 → 第3期前半、第3期後半

35	施設名	入出排水機場	所管課	産業振興課
	敷地面積	834㎡	土地所有	市
	延床面積	198㎡	建築年・構造	昭和52年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期前半、第3期後半		
	現状と課題	入出排水機場は、湛水被害を防止し、地区住民の生活及び営農の安定を図るための施設として建設され、台風や大雨だけでなく内浦ほ場内の排水を入出太田川に放流するため、毎日朝夕排水ポンプを稼働しています。 施設は建築後48年が経過していますが、平成21年度から平成23年度にかけて大規模改修工事を実施しました。今後、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業の活用し、再度施設の大規模改修を実施する予定です。		
	事業概要	災害時だけでなく内浦ほ場内の排水を入出太田川に放流するために必要な施設であるため、計画的な維持更新を行い、施設の長寿命化を図ります。また、継続利用が可能となるよう、できる限り早期に改修工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期前半	2026	・県単調査	2百万円	
	2027			
	2028			
	2029			
	2030			
3期後半	2031	・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	100百万円	
	2032	・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	100百万円	
	2033	・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	100百万円	
	2034	・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	100百万円	
	2035	・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	100百万円	

(令和8年3月見直し内容)

【実施時期】第4期(2036年～2045年) → 第3期前半、第3期後半(2031年～2035年)

※県営事業のため、県の事業採択や予算措置状況により時期が変動します。記載している内容については最も理想的に推移した場合の想定です。

36	施設名	総合倉庫	所管課	資産経営課
	敷地面積	668㎡	土地所有	市
	延床面積	1,161㎡	建築年・構造	平成7年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	総合倉庫は、公文書等の適切な保管を目的として建設されたものであり、現在は公文書や防災資機材などが保管されています。 施設は建築後30年が経過し、外壁・屋根の老朽化が進んでおり、その改修が必要です。また、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。		
	事業概要	市役所の各部局の公文書等を保管する倉庫として必要であるため、計画的な維持更新を行い、施設の長寿命化を図ります。		
	複合化等検討対象施設	杉本電気倉庫		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033			
	2034	・実施設計		
	2035	・大規模改修工事	161百万円	

37	施設名	北部多目的センター文化財倉庫	所管課	文化観光課
	敷地面積	1,142㎡	土地所有	借用
	延床面積	980㎡	建築年・構造	昭和46年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	北部多目的センター文化財倉庫は、埋蔵文化財発掘資料や歴史的資料等を収蔵・保管する施設です。 最も古い施設は建築後54年が経過し、外壁・屋根等の老朽化が進んでおり、その改修が必要です。		
	事業概要	文化財収蔵の拠点施設として必要であるため、計画的な維持更新を行い、施設の長寿命化を図ります。		
	複合化等検討対象施設	文化財仮倉庫		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・ 資料整理		
	2032	・ 資料整理		
	2033	・ 民具資料移設		
	2034	・ 民具資料移設 ・ 実施設計（改修工事）		
	2035	・ 大規模改修工事	204百万円	

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】 第3期前半（2026年～2030年）→第3期後半（2031年～2035年）

38	施設名	文化財仮倉庫	所管課	文化観光課
	敷地面積	958㎡	土地所有	市
	延床面積 建築年 構造	1号棟 113㎡ 平成3年・鉄骨造 2号棟 113㎡ 平成3年・鉄骨造 3号棟 158㎡ 平成19年・鉄骨造 合計 384㎡		
	再配置の 方向性	継続（規模縮小）		
	実施時期	第3期後半（2031～2035）		
	現状と課題	文化財仮倉庫は、主に民俗資料を収蔵・保管する施設として利用しています。 1号棟及び2号棟は建築後34年が経過し、外壁・屋根の老朽化が進んでいます。		
	事業概要	文化財収蔵庫として必要であるため、3号棟は計画的な維持更新を行い、施設の長寿命化を図ります。 また、老朽化した1号棟と2号棟は、他施設への機能集約を実施し廃止します。 なお、保管に配慮が必要な資料があるため、改修前に適切な準備を行います。		
	複合化等検討対象施設	北部多目的センター文化財倉庫・統廃合により廃校となった教育施設		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033	・民具資料移設		
	2034	・民具資料移設 ・実施設計（解体及び改修工事）		
	2035	・解体工事（1号棟・2号棟） ・大規模改修工事（3号棟）	33百万円	226㎡

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年）→第3期後半（2031年～2035年）

39	施設名	川尻排水機場	所管課	産業振興課
	敷地面積	1,442㎡	土地所有	市
	延床面積	156㎡	建築年・構造	昭和52年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	廃止		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）		
	現状と課題	川尻排水機場は、受益地の宅地化や河川改修が進んでいることから、平成14年より稼働を停止しています。 施設は建築後48年が経過し、施設の老朽化が深刻な状況です。 公共施設の安全性の確保の観点から、早期に解体工事を実施することが求められています。		
	事業概要	2030年度に耐用年数を迎えるため施設の用途廃止を行い、解体工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・ 解体工事設計	8百万	
	2032	・ 解体工事	50百万	
	2033	・ 解体工事	50百万	
	2034	・ 解体工事	10百万	156㎡
	2035			

40	施設名	杉本電気跡倉庫	所管課	資産経営課
	敷地面積	314㎡	土地所有	市
	延床面積	362㎡	建築年・構造	昭和55年・鉄骨造
	再配置の方向性	廃止（解体後または建物解体条件付きで市有地売却）		
	実施時期	第3期後半（2031～2035年）		
	現状と課題	杉本電気跡倉庫は、平成8年に民間業者より買収し、現在は各部署の公文書や交通安全用具などを保管する倉庫として利用しています。 施設は建築後45年が経過し、老朽化や機能低下が進んでおり、耐震性にも課題があります。		
	事業概要	倉庫機能を、別の倉庫機能を有する施設へ移転します。保管物の移転完了後は解体後の売却または建物解体条件付き市有地売却を行います。		
	複合化等検討対象施設	総合倉庫		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031	・ 廃止（売却）		362㎡
	2032			
	2033			
	2034			
	2035			

（令和8年3月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第3期後半（2031年～2035年）

(3) 【長期検討事業（第4期 2036—2045）】

No.	ページ	施設名	施設分類	所在地	建築年
1	P 66	紀伊国屋資料館	社会教育系施設	新居町新居 1280-1	明治初期
2	P 67	新居関所史料館	社会教育系施設	新居町新居 1227-5	昭和 51 年
3	P 68	新居体育館	スポーツ・レクリエーション系施設	新居町浜名 522-1	平成 26 年
4	P 69	平次ヶ谷公園管理棟	スポーツ・レクリエーション系施設	新居町内山 857	平成 8 年
5	P 70	白須賀小学校	学校教育系施設	白須賀 5030	昭和 45 年
6	P 71	岡崎小学校	学校教育系施設	岡崎 634-2	昭和 52 年
7	P 72	白須賀中学校	学校教育系施設	白須賀 986	昭和 54 年
8	P 73	新居中学校	学校教育系施設	新居町中之郷 1181	昭和 48 年
9	P 74	湖西市ふれあい交流館	保健・福祉施設	鷺津 1038-1	平成 18 年
10	P 75	湖西市はつらつセンター	保健・福祉施設	入出 1801	平成 14 年
11	P 76	消防署西分署	行政系施設	岡崎 821-1	平成 15 年
12	P 77	消防団第 1 分団詰所	行政系施設	鷺津 1021-1	平成 10 年
13	P 78	消防団第 6 分団詰所	行政系施設	岡崎 821-1	平成 4 年
14	P 79	消防団第 8 分団詰所	行政系施設	太田 140-1	平成 5 年
15	P 80	消防団第 9 分団詰所	行政系施設	大知波 1038-1	昭和 57 年
16	P 81	消防団第 10 分団詰所	行政系施設	新居町新居 1228-17	平成 4 年
17	P 82	消防団第 11 分団詰所	行政系施設	内山 1925-1	昭和 59 年
18	P 83	消防団第 13 分団詰所	行政系施設	新居町中之郷 3654-23	平成 7 年
19	P 84	五田住宅	公営住宅	吉美 3534	平成 8 年
20	P 85	上ノ原住宅	公営住宅	岡崎 817-1	平成 26 年
21	P 86	湖西市民活動センター	その他	鷺津 1293-4	平成 11 年
22	P 87	新居排水機場	その他	新居町浜名 13-2	昭和 46 年
23	P 88	日の岡排水機場	その他	新所 4437-6	昭和 58 年
24	P 89	新居斎場(やすらぎ苑)	その他	新居町中之郷 1138-1	平成 14 年

長期検討事業（第4期） 公共施設位置図



1	施設名	紀伊国屋資料館	所管課	文化観光課
	敷地面積	920㎡	土地所有	市
	延床面積	344㎡	建築年・構造	平成13年（明治初期）・木造
	再配置の方向性	継続（文化財として保存）		
	実施時期	第4期（2041年～2045年）		
	現状と課題	紀伊国屋資料館は、市指定有形文化財の建物を旅籠資料館として公開しています。施設は復元整備後24年が経過しています。 文化財として保存が必要であるとともに、新居関所及び小松楼まちづくり交流館と並び、回遊性のある観光施設としての機能を持っています。 なお、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。		
	事業概要	歴史散策やウォーキングで訪れる人たちの休憩や旅籠の歴史を学ぶ等、活動や交流の場となるもので、地域からの要望を参考にしながら継続利用が可能となるよう改修工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4	2036～2040			
期	2041～2045	・外壁塗装	9百万円	

（令和8年6月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年）→第4期（2036年～2045年）

2	施設名	新居関所史料館	所管課	文化観光課
	敷地面積	5,222㎡	土地所有	市
	延床面積	543㎡	建築年・構造	昭和51年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	建て替え		
	実施時期	第4期（2036～2040）		
	現状と課題	新居関所史料館は、全国で唯一現存する関所の歴史を伝える施設として、関所の歴史を学ぶ場の提供や、街道・交通史の関係資料展示を行っています。 施設は建築後49年が経過し、老朽化が進んでおり、また、バリアフリー化ができていない状況で、面番所建物は耐震性にも課題があります。また、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。 なお、国特別史跡新居関所は、平成5年から復元整備事業を実施しています。		
	事業概要	地震対策、展示機能の充実や施設のバリアフリー化を図るため、建て替えを実施します。 また、施設の建て替えに合わせ、周辺の施設との一体的運営についても検討します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計、建設工事	244百万円	
	2041～2045			

（令和8年6月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年）→第4期（2036年～2045年）

3	施設名	新居体育館	所管課	スポーツ・生涯学習課
	敷地面積	16,608㎡	土地所有	市
	延床面積	2,172㎡	建築年・構造	平成26年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	新居体育館は、新居スポーツ広場公園内にある体育館です。 施設は建築後11年が経過しています。 弓道場については、老朽化やシロアリ被害など、その対策が課題となっています。 また、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域に位置しています。		
	事業概要	スポーツを通じた健康づくりやサークル活動などの拠点施設として、機能の一層の充実や利用者の安全性の確保のため、改修工事を実施します。 また、テニスコート及び弓道場について、他施設との機能集約を検討します。		
	複合化等検討対象施設	湖西運動公園、勤労者体育センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4	2036～2040	・施設集約の検討、施設集約		
期	2041～2045	・実施設計、大規模改修工事	145百万円	

4	施設名	平次ヶ谷公園管理棟	所管課	土木課
	敷地面積	7,903m ²	土地所有	市・借用
	延床面積	101m ²	建築年・構造	平成8年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続(規模縮小)		
	実施時期	第4期(2036年～2045年)		
	現状と課題	平次ヶ谷公園は、グラウンドゴルフ、パターゴルフ、バスケットゴールの設備を有する施設で、年間を通じて地域住民に利用されています。 管理棟は建築後29年が経過し、各設備の経年劣化が進んでおり、その修繕や更新が必要です。なお、建物の耐震性は比較的良くアスベスト等有害物質の使用も認められないことから、性急な減築は行わず、大規模修繕の必要性が認められるまでは適正な管理を継続します。		
	事業概要	スポーツを通じた地域住民の健康づくりの拠点施設として、運動や交流の場となるもので、利用者の安全性の確保や効率的な維持管理のため、必要な機能を維持しつつ、将来的には規模縮小の改修工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040			
	2041～2045	・実施設計 ・大規模改修工事(減築)	22百万円	71m ²

5	施設名	白須賀小学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	20,054㎡	土地所有	市
	延床面積	5,430㎡	建築年・構造	昭和45年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第3期後半（2031年～2035年）、第4期前半（2036年～2040年）		
	現状と課題	白須賀小学校は建築後55年が経過し、施設の老朽化や電気設備の劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。 現在、1学年1学級の規模で運営しており、今後も児童数は減少することが予測されています。		
	事業概要	湖西市立小中学校再編方針では、白須賀小学校は現状のままとする方針です。 施設の長寿命化を図るため、計画的な維持修繕、大規模改修工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設			

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3期後半	2031			
	2032			
	2033			
	2034	・実施設計		
	2035	・大規模改修	871百万円	
4期	2036～2040	・大規模改修	870百万円	
	2041～2045			

（令和8年6月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年）→第4期（2036年～2045年）

6	施設名	岡崎小学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	29,559㎡	土地所有	市
	延床面積	8,322㎡	建築年・構造	昭和52年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	岡崎小学校は建築後48年が経過し、施設の老朽化や電気設備の劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。		
	事業概要	施設の長寿命化を図るため、計画的な維持修繕、大規模改修工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設			

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事	2,877 百万円	
	2041～2045			

7	施設名	白須賀中学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	24,558㎡	土地所有	市
	延床面積	4,152㎡	建築年・構造	昭和54年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続(学校再編を検討)		
	実施時期	第4期(2036年～2045年)		
	現状と課題	白須賀中学校は建築後46年が経過していますが、平成22年度に耐震補強・大規模改修を行い、トイレのドライ化に適應しています。また、令和2年度に体育館の屋根改修工事を実施しました。 現在、1学年1学級の規模で運営しており、今後も生徒数は減少することが予測されています。		
	事業概要	湖西市立小中学校再編方針に基づき、近隣の中学校との統合を検討していますが、現状維持とした場合は、施設の長寿命化を図るため、計画的な維持修繕、大規模改修工事等を実施します。		
	複合化等検討対象施設			

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事	642百万円	
	2041～2045			

(令和8年6月見直し内容)

【実施時期】第3期後半(2031年～2035年) → 第4期(2036年～2045年)

8	施設名	新居中学校	所管課	教育総務課
	敷地面積	45,332㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	14,259㎡	建築年・構造	昭和48年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続(規模縮小を検討)		
	実施時期	第4期(2036年～2045年)		
	現状と課題	新居中学校は平成30年度に南校舎、令和元年度に中校舎の屋上と外壁の改修工事を実施しました。 施設は建築後52年が経過し、電気設備等の劣化が進んでおり、その改修や更新が必要です。 また、トイレの洋式化・ドライ化に適応できていません。 生徒数は減少傾向にあるため、3棟から2棟への集約を進める必要があります。		
	事業概要	施設の長寿命化を図るため、計画的な維持修繕、大規模改修工事及びトイレの洋式化・ドライ化を実施します。		
	複合化等検討対象施設			

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計		
	2041～2045	・大規模改修工事	3,297百万円	

9	施設名	湖西市ふれあい交流館	所管課	こども未来課
	敷地面積	1,478㎡	土地所有	市
	延床面積	683㎡	建築年・構造	平成18年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続(複合化を検討)		
	実施時期	第4期(2036年～2045年)		
	現状と課題	湖西市ふれあい交流館は、地域のふれあい活動の拠点施設として、サークル活動や放課後児童クラブに年間約23,500人(令和6年度)が利用しています。 施設は建築後19年となり、軒天内部の雨漏りや外壁、エレベーター設備の劣化が予測されることから、その対策を進める必要があります。 また、施設管理については、指定管理者制度を導入しています。		
	事業概要	地域住民の活動や交流の場となるもので、機能の一層の充実や利便性の向上を図ります。 また、周辺の公共施設との複合化について検討します。		
	複合化等検討対象施設	市役所、健康福祉センター		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・複合化の検討		
	2041～2045	・実施設計、大規模改修工事	142百万円	

10	施設名	湖西市はつらつセンター	所管課	高齢者福祉課
	敷地面積	2,397m ²	土地所有	市
	延床面積	406m ²	建築年・構造	平成14年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続（複合化を検討）		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	湖西市はつらつセンターは、介護予防を目的とした施設であり、介護予防教室の開設や世代間交流室の運営により、年間を通じて地域住民に利用されています。 施設は建築後23年が経過し、今後、電気設備・空調設備などの不具合の発生が予測されることから、その対策を進める必要があります。		
	事業概要	北部地域における介護予防拠点として活用されており、将来的に施設需要の増加が予測されることから、機能の一層の充実や利用者の安全性の確保のため、必要により改修工事を実施します。 また、周辺の公共施設との複合化について検討します。		
	複合化等検討対象施設	北部地区多目的研修集会施設		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・複合化の検討 ・実施設計 ・大規模改修工事（複合化を検討）	85百万円	
	2041～2045			

11	施設名	消防署西分署	所管課	消防総務課
	敷地面積	1,240m ²	土地所有	市
	延床面積	816m ²	建築年・構造	平成15年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	消防署西分署は、市の北西部に位置し、消防本部・消防南分署とともに、市民の安全・安心を確保する消防施設です。 施設は建築後22年と比較的新しい施設ですが、今後、電気設備・空調設備などの不具合の発生が予測されることから、その対策を進める必要があります。 駐車スペースが不足しており、駐車場用地の確保が課題となっています。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として計画的に維持更新を行い、施設の長寿命化を図ります。 また、今後、消防力を最大限に有効活用できるよう新たな出動態勢を構築し、市民の安全・安心の向上を図ります。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4	2036～2040			
期	2041～2045	・実施設計、大規模改修工事	171百万円	

12	施設名	消防団第1分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	297㎡	土地所有	市
	延床面積	67㎡	建築年・構造	平成10年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	消防団第1分団詰所は、鷺津地区に位置し、第1分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後27年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第1分団は現状維持となります。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事	16.3百万円	
	2041～2045			

13	施設名	消防団第6分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	270㎡	土地所有	市
	延床面積	67㎡	建築年・構造	平成4年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	消防団第6分団詰所は、岡崎地区に位置し、第6分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後33年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。 また、消防団員数の割に駐車場が不足しています。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第6分団は現状維持となります。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事	16.3百万円	
	2041～2045			

（令和8年6月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年） → 第4期（2036年～2045年）

14	施設名	消防団第8分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	294㎡	土地所有	市
	延床面積	67㎡	建築年・構造	平成5年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	消防団第8分団詰所は、太田地区に位置し、第8分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後32年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第8分団は第9分団と統合し新第4分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第9分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事	16.3百万円	
期	2041～2045			

（令和8年6月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年） → 第4期（2036年～2045年）

15	施設名	消防団第9分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	322㎡	土地所有	市
	延床面積	77㎡	建築年・構造	昭和57年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	消防団第9分団詰所は、知波田地区に位置し、第9分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後43年が経過し、平成8年に改修を実施していますが、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第9分団は第8分団と統合し新第4分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第8分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033			
	2034			
	2035	・実施設計	3.3百万円	
4 期	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事	18.9百万円	
	2041～2045			

16	施設名	消防団第10分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	110㎡	土地所有	市
	延床面積	95㎡	建築年・構造	平成4年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	消防団第10分団詰所は、新居地区に位置し、第10分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 津波浸水想定区域内にあるため、津波の襲来により消防車両の出動や走行が困難となることが予測されますが、通常の火災事案等における消防車両の現場到着時間を考慮すると、適正な位置となっています。 施設は建築後33年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第10分団は第13分団と統合し新第7分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第13分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 後 半	2031			
	2032			
	2033			
	2034			
	2035	・実施設計	3.1百万円	
4 期	2036～2040	・大規模改修工事	20百万円	
	2041～2045			

（令和8年6月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年） → 第4期（2036年～2045年）

17	施設名	消防団第11分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	145㎡	土地所有	市
	延床面積	69㎡	建築年・構造	平成10年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	消防団第11分団詰所は、新居地区に位置し、第11分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 津波浸水想定区域内にあるため、津波の襲来により消防車両の出動や走行が困難となることが予測されますが、通常の火災事案等における消防車両の現場到着時間を考慮すると、適正な位置となっています。 施設は建築後27年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第11分団は第12分団と統合し新第8分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第12分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事	16.3百万円	
	2041～2045			

18	施設名	消防団第13分団詰所	所管課	消防総務課
	敷地面積	257㎡	土地所有	市
	延床面積	89㎡	建築年・構造	平成7年・鉄骨造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2040年）		
	現状と課題	消防団第13分団詰所は、新居地区に位置し、第13分団の消防団員の活動拠点となる施設で、平時は会議場所、災害時は情報収集を行う拠点として設置しています。 施設は建築後30年が経過し、建物本体の老朽化や電気設備の劣化に対して、今後、改修や更新が必要です。		
	事業概要	市民の安全・安心を確保する施設として、継続利用のための改修工事を実施します。なお、令和6年度に消防団再編計画を策定し、令和9年度から現在の13分団を8分団に統合します。第13分団は第10分団と統合し新第7分団となります。統合後も、それぞれの詰所を継続して使用していきますが、将来的に1個の詰所に集約することを検討します。		
	複合化等検討対象施設	第10分団詰所		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計	3百万円	
	2041～2045	・大規模改修工事	19百万円	

（令和8年6月見直し内容）

【実施時期】第3期後半（2031年～2035年） → 第4期（2036年～2045年）

19	施設名	五田住宅	所管課	建築住宅課
	敷地面積	7,132㎡	土地所有	市
	延床面積	A棟 1,056㎡ B棟 1,367㎡ 合計 2,423㎡	建築年・構造	平成8年・鉄筋コンクリート造
	再配置の 方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	五田住宅は、鷺津地区にある市営住宅です。 施設は建築後29年が経過し、大規模改修を行っていないため外壁・屋根等の老朽化が進んでいます。 敷地西側に市営住宅用地を所有しており、老朽化が進んでいる市営住宅の集約建替えとしての利活用を検討します。		
	事業概要	市営住宅を適正に維持管理するための「湖西市営住宅長寿命化計画」に基づき施設の改修工事を実施することで長寿命化を図ります。 また、老朽化している市営住宅の集約建替えを検討します。		
	複合化等検討対象施設	松山住宅、住吉東住宅		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
3 期 前 半	2026	・統廃合の検討		
	2027	・統廃合の検討 (集約建替えの場合設計)		
	2028	〃		
	2029	・統廃合の検討 (集約建替えの場合工事)		
	2030	〃		
4 期	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事 (A・B棟)	39百万円	
	2041～2045	—	—	

20	施設名	上ノ原住宅	所管課	建築住宅課
	敷地面積	5,933㎡	土地所有	市
	延床面積	A棟 998㎡ B棟 2,184㎡ C棟 2,362㎡ 合計 5,544㎡	建築年・構造	平成26年・鉄筋コンクリート造
	再配置の 方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	上ノ原住宅は、新所原地区にある唯一の市営住宅であり、病院、店舗、駅が近いことから、入居希望者が多い状況です。 施設は建築後11年と新しい施設ですが、太陽光発電設備、エレベーターが各棟に設置してあるため、今後設備の維持管理費の増加が予想されます。		
	事業概要	市営住宅を適正に維持管理するための「湖西市営住宅長寿命化計画」に基づき施設の改修工事を実施することで長寿命化を図ります。 また、今後の利用者の推移を踏まえ、現状の規模を維持します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・実施設計、大規模改修工事	154百万円	
	2041～2045			

21	施設名	湖西市民活動センター	所管課	市民課
	敷地面積	1,590m ²	土地所有	市
	延床面積	393m ²	建築年・構造	平成11年・鉄骨造
	再配置の方向性	建て替えまたは複合化後に廃止		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	湖西市民活動センターは、多文化共生推進事業、日本語教育推進事業、市民活動、各種相談事業の拠点であり、また行政機能としてスポーツ・生涯学習課の事務所がありますが、耐用年数が2037年に迫っており外壁や空調設備の劣化が進んでいます。 また、長期の利用を想定した建築物ではないため長寿命化を図ることが困難な施設です。各種事業の継続のためには今後も拠点が必要となるため、周辺施設との複合化を検討します。なお、複合化が困難な場合には市民活動センターの建て替えが必要となります。		
	事業概要	各種事業拠点機能については、当面は現状のまま維持し、市役所新庁舎に一部の機能を集約し、余剰スペースが生まれる見込みの健康福祉センター等の公共施設への複合化を検討します。なお、複合化が困難な場合には建替を検討します。 行政機能部分（スポーツ・生涯学習課事務所）については、新庁舎へ複合化する予定です。		
	複合化等検討対象施設	健康福祉センター（おぼと）		

期	年度	取組スケジュール		想定事業費	縮減面積
		複合化の場合	建て替えの場合		
3期前半	2026～2030	市役所の建て替え延期に伴い、健康福祉センターの移転時期が未定のため、詳細が決まった時点で個別・具体的に計上			
3期後半	2031				
	2032				
	2033				
	2034				
	2035				
4期	2036～2040		・建て替え		
	2041～2045	・解体工事設計 ・解体工事			393m ²

22	施設名	新居排水機場	所管課	産業振興課
	敷地面積	492㎡	土地所有	市
	延床面積	223㎡	建築年・構造	昭和46年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	新居排水機場は、湛水被害を防止し、地区住民の生活及び営農の安定を図るための施設として建設されたものです。 施設は建築後54年が経過しており、平成29年度から令和元年度までの県営基幹水利施設ストックマネジメント事業の対象部分である主ポンプや排水樋門等の更新が完了しました。今後は、潮による排水ポンプ等の定期的なポンプの修繕が必要です。		
	事業概要	本施設は、災害時に必要な施設であるため、除塵機の更新を実施し、長寿命化を図ります。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040	・県単調査・ストックマネジメント		
	2041～2045			

（令和8年6月見直し内容）

【実施時期】第2期（2021年～2025年） → 第4期（2036年～2045年）

23	施設名	日の岡排水機場	所管課	産業振興課
	敷地面積	2,354m ²	土地所有	市
	延床面積	180m ²	建築年・構造	昭和58年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	日の岡排水機場は、湛水被害を防止し、地区住民の生活及び営農の安定を図るための施設として建設され、台風や大雨の際に必要なに応じて排水ポンプを稼働しています。 施設は建築後42年が経過していますが、平成22年度から平成25年度にかけて大規模改修工事を実施したことから、長寿命化工事は完了しています。潮による排水ポンプ等の定期的なポンプの修繕が必要である。		
	事業概要	災害時に必要な施設であるため、計画的な維持更新を行い、施設の長寿命化を図ります。また、継続利用が可能となるよう、2045年度までに改修工事を実施します。		
	複合化等検討対象施設	—		

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040			
	2041～2045	・実施設計、大規模改修工事	65百万円	

24	施設名	新居斎場（やすらぎ苑）	所管課	環境課
	敷地面積	28,360㎡	土地所有	市・借用
	延床面積	2,382㎡	建築年・構造	平成14年・鉄筋コンクリート造
	再配置の方向性	継続		
	実施時期	第4期（2036年～2045年）		
	現状と課題	新居斎場（やすらぎ苑）は、市民の火葬を行う施設として建設され、火葬、式場、待合いの機能を有した施設です。利便性に優れていることから、多くの地域住民に利用されています。 施設は建築後23年が経過し、屋根・外壁等の劣化が進んでおり、その改修が必要です。		
	事業概要	火葬、葬儀等を行うための施設として、市民にとってより利便性の高い施設となるよう計画的に維持更新を行い、施設の長寿命化を図ります。		
	複合化等検討対象施設			

期	年度	取組スケジュール	想定事業費	縮減面積
4期	2036～2040			
	2041～2045	・実施設計、大規模改修工事	840百万円	

湖西市公共施設再配置個別計画

2018 年（平成 30 年）2 月

（2026 年（令和 8 年）3 月改定）

発行 湖西市企画部資産経営課

〒431-0492 湖西市吉美3268番地

電 話 （053）576-4875

FAX （053）576-1139

E-mail shisan@city.kosai.lg.jp